

平成24年8月

平成24年	4月	～	6月期	実績
平成24年	7月	～	9月期	見通し

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

# 目 次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23

## [集計資料]

本調査結果について、東日本大震災の津波で壊滅的に被害のあった4商工会地区(陸前高田、大槌、山田町、野田村)の状況は、調査不能のため含まれておりませんので、予めご了解のうえ、ご覧下さい。

## D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いたものです。

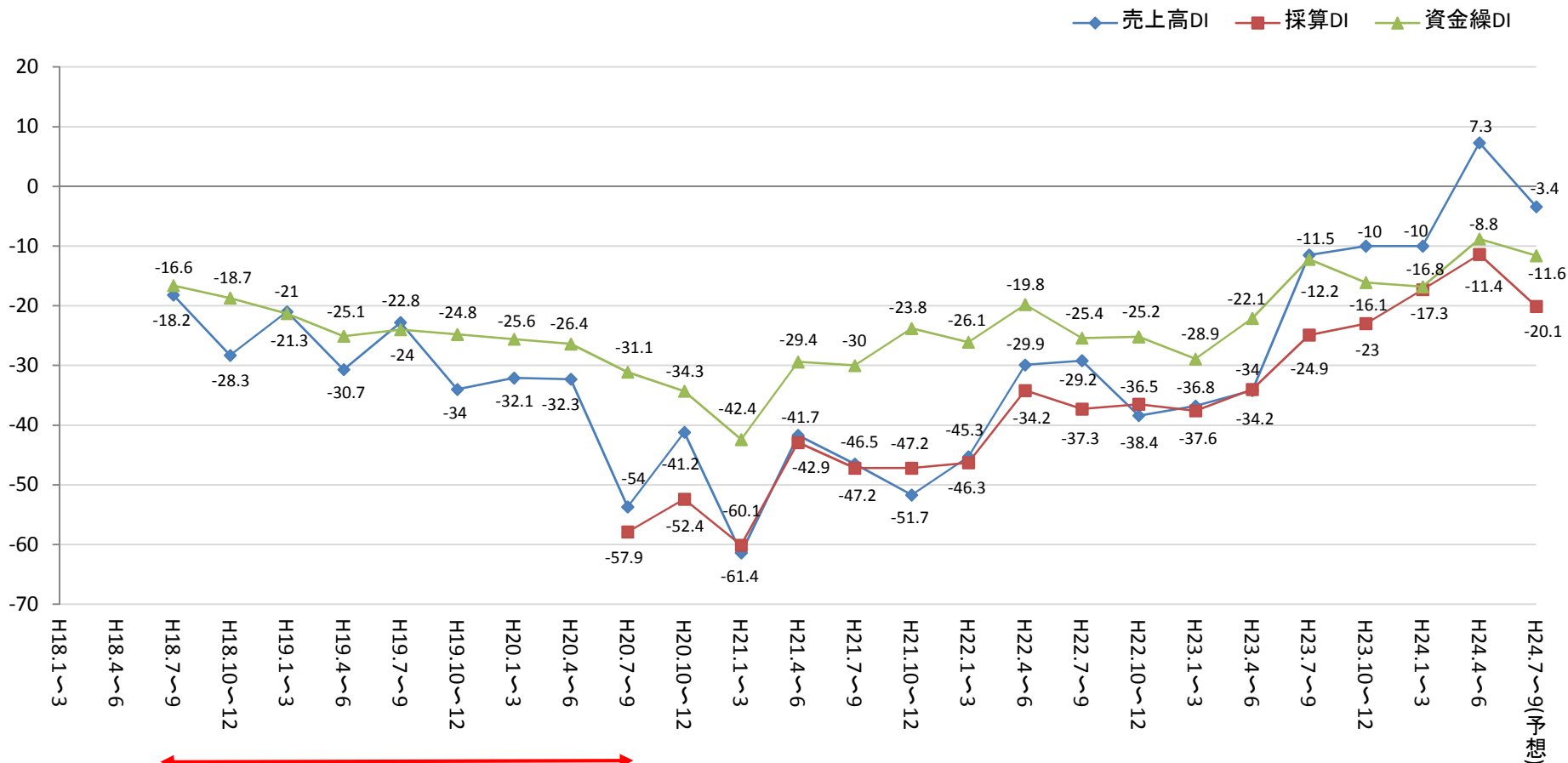
D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[ 岩手県 産業全体 ]






### 主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

# 業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成22年		平成23年		平成24年		(見通し) 平成24年 7~9月		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月			
製 造 業	 曇	 曇	 曇	 薄曇	 薄曇	 薄曇	 薄曇	 曇	 曇
建 設 業	 曇	 曇	 雨	 曇	 薄曇	 晴	 晴	 晴	 快晴
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 薄曇	 曇
サ ー ビ ス 業	 曇	 雨	 曇	 雨	 曇	 薄曇	 曇	 晴	 薄曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

# 全産業の推移

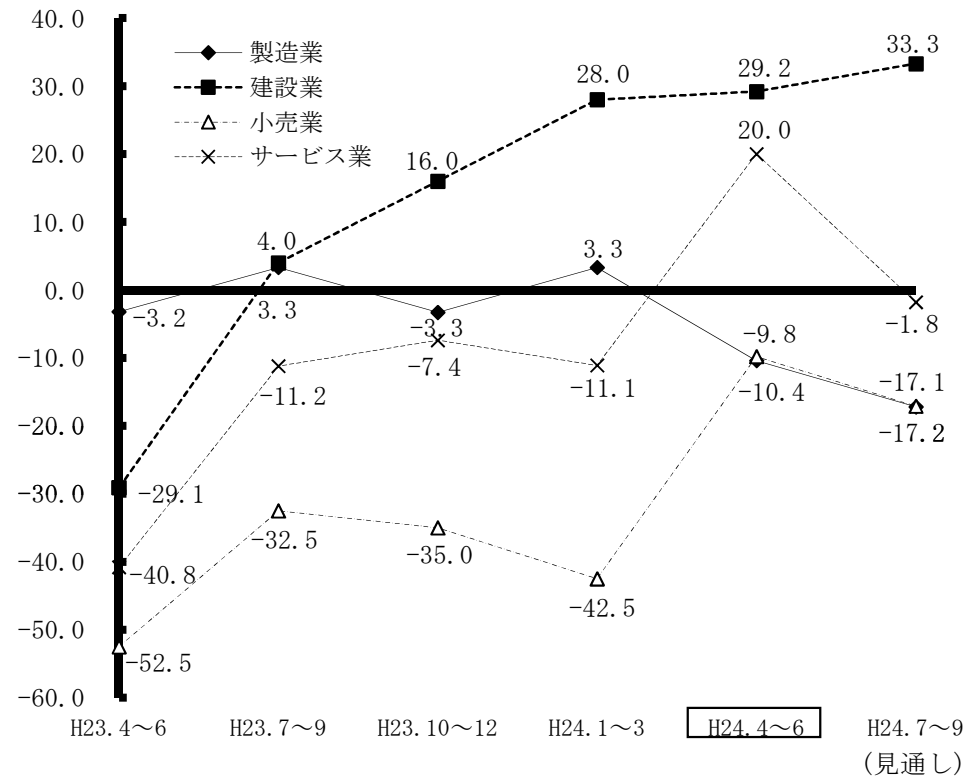
## 売上高

今期は、建設業が5期連続して上昇した結果、プラス幅が29.2となり、平成15年1月～3月期の調査時以降で最も高い水準を維持しています。

また、サービス業及び小売業でも大幅な改善が見られました。

しかし、製造業は13.7ポイント低下の△10.4となり、再びマイナス水準に転じています。

来期は、建設業において、引き続き上昇が見込まれていますが、他の業種は低下が予想されています。特に、サービス業においては21.8ポイント低下の△1.8の予想となり、再びマイナス水準になる見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

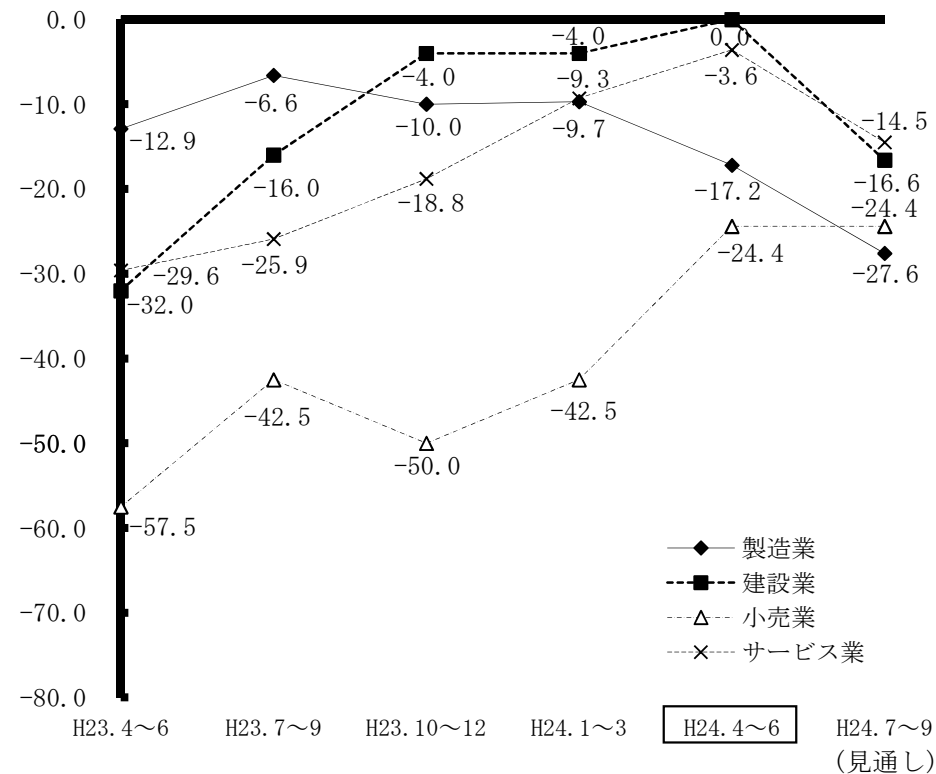
# 全産業の推移

## 採算

今期は、建設業、小売業、サービス業の3業種において上昇しましたが、製造業はマイナス幅が拡大して△17.2となっています。建設業を除く業種では依然としてマイナス水準にはあるものの、特に今回、小売業では18.1ポイント上昇の△24.4まで回復しており、小売業では大幅な改善が見られました。

来期は、小売業では横ばいが予想されるものの、他の3業種においては低下が見込まれ、建設業では、再びマイナス領域に転じる見通しです。

※採算は各業種とも経常利益

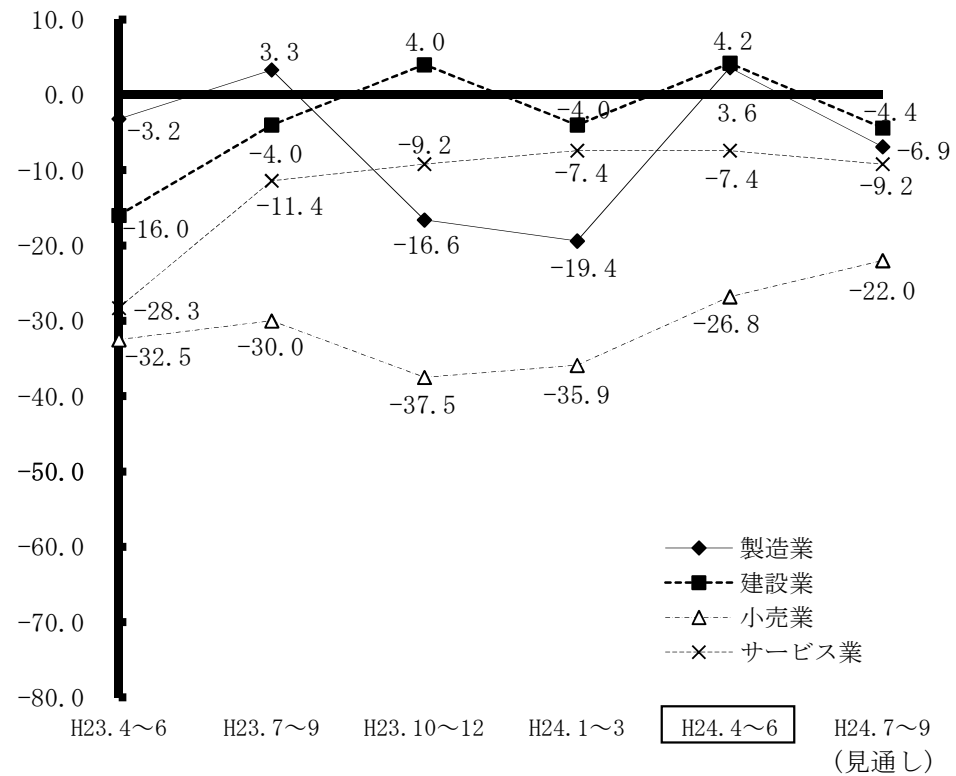


# 全産業の推移

## 資金繰り

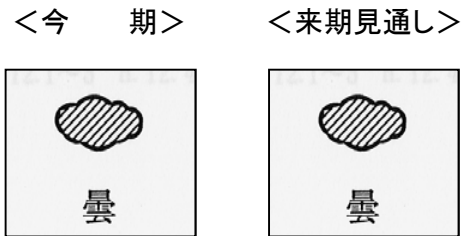
今期は、サービス業が横ばいとどまったものの、他の3業種においては資金繰りが好転し、特に製造業、建設業ではプラス水準となりました。

来期は、小売業において4.8ポイントの上昇が予想されるものの、他の3業種では低下して、資金繰りD・Iは全業種が再びマイナス水準に転じる見通しです。



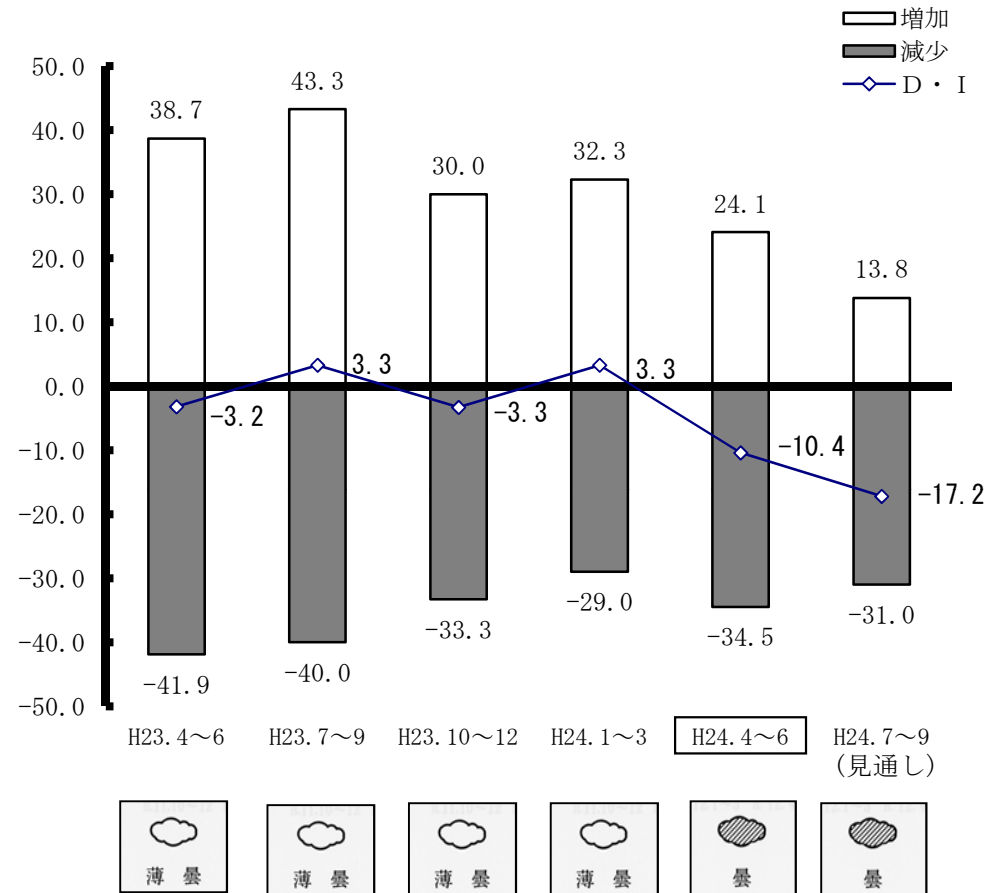
# 製造業の推移

## 売上高



今期は、減少企業割合の上昇と増加企業割合の低下により、売上高D・Iは13.7ポイントの大幅な低下となり、△10.4となりました。

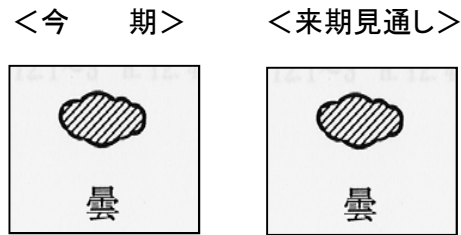
来期は、売上高の増減少を予想する企業は低下するものの、前期に比べ売上高の増加を予想する企業の割合が減少を予想する企業の割合以上に低下することから、売上高D・Iはマイナス幅を広げ、△17.2と予想されています。





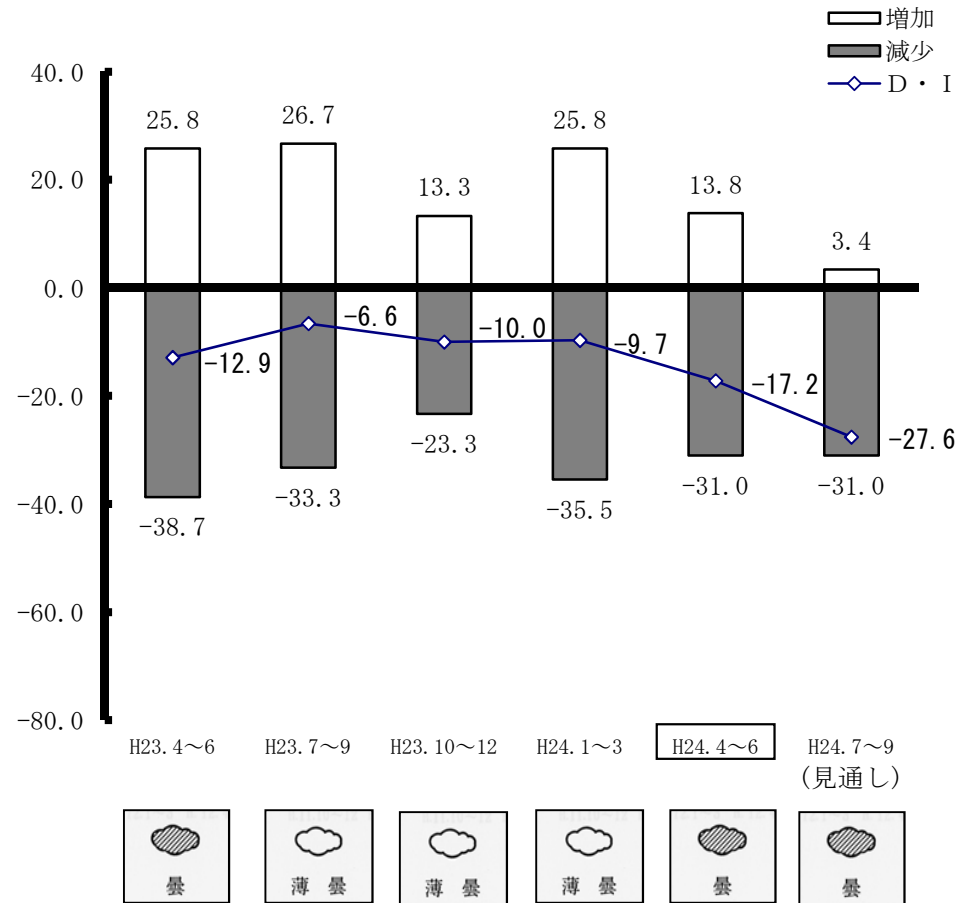
# 製造業の推移

## 採算



今期は、好転企業が12.0ポイントも減少したことによって、採算D・Iは低下し、△17.2となりました。

来期は、採算の好転を予想する企業が更に減少することから、採算D・Iは前期に引き続いて低下し、△27.6となり、直近5期では最悪となる見通しです。

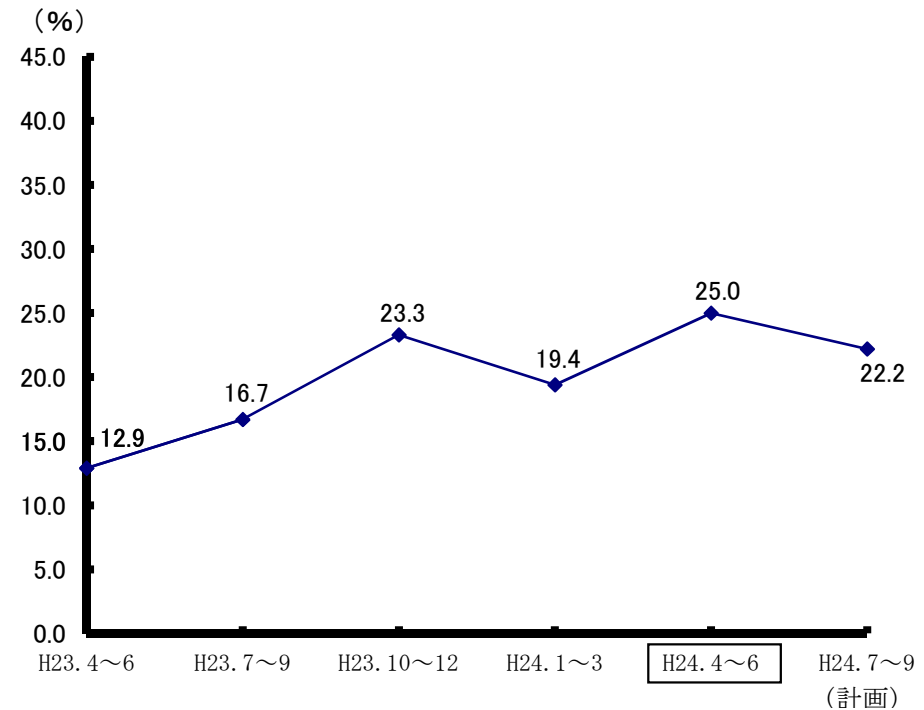


## 設備投資

前期見通しでは、設備投資を行う企業は減少し、12.9%と予想しておりましたが、実際は設備投資を行った企業が増加し、25.0%の企業において設備投資が実施されました。

来期は、設備投資を計画している企業の割合は減少するものの、22.2%の企業で設備投資が行われる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



## 経営上の問題点

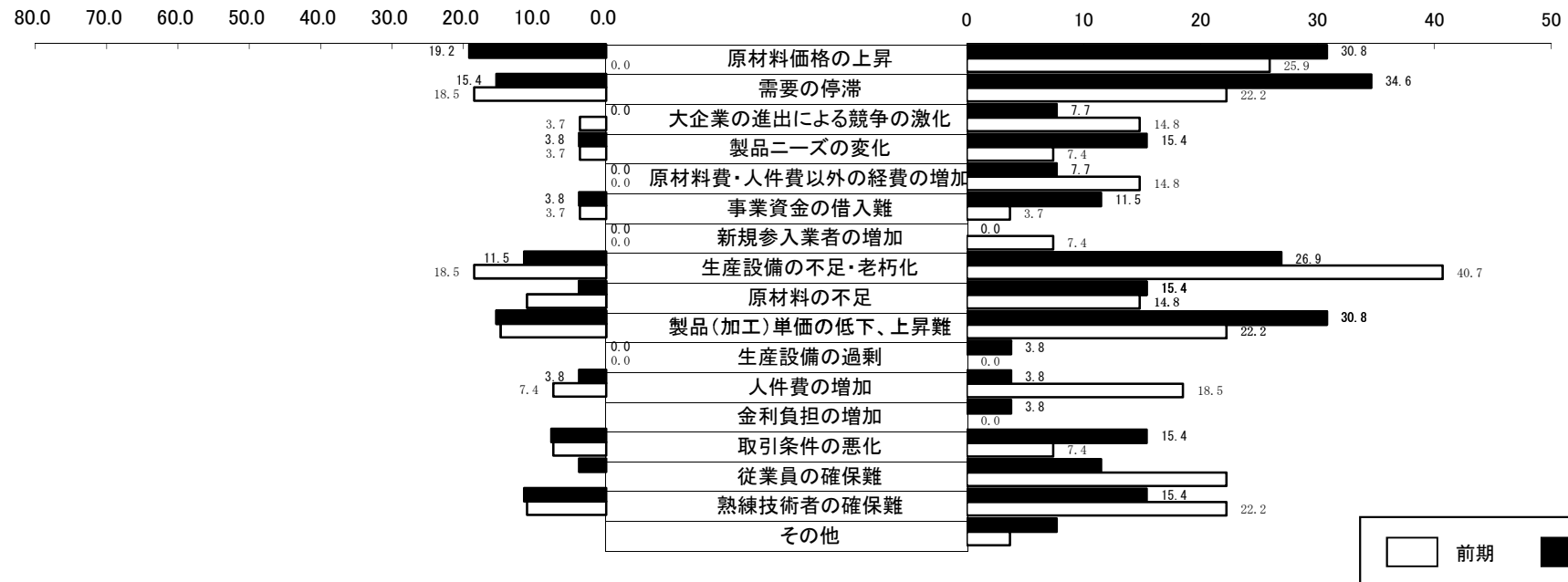
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



# 建設業の推移

## 売上高

<今 期>



晴

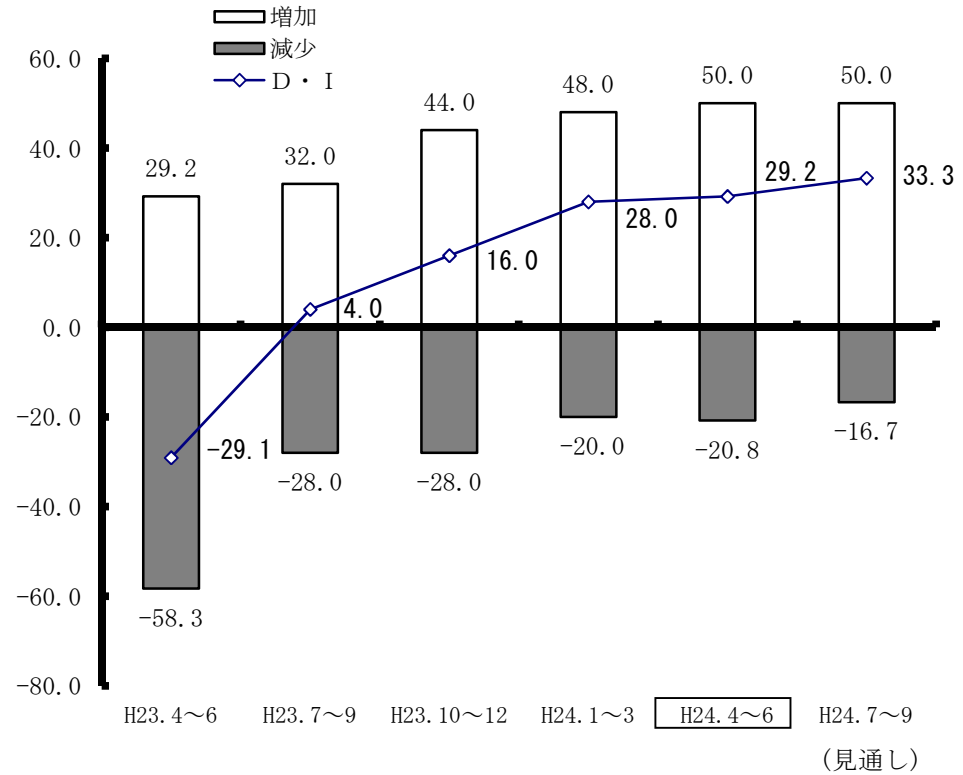
<来期見通し>



快晴

今期は、売上高増加企業が5期連続して上昇した結果、プラス幅が29.2となり、平成15年1月～3月期の調査時以降では最も高い水準を維持しています。

来期は、売上高増加を予想する企業割合は横ばいとどまるものの、売上高減少を予想する企業の低下によって、売上高D・Iは更に4.1ポイント上昇し、プラス幅を更に拡大する見通しです。



曇



薄曇



晴



晴



晴



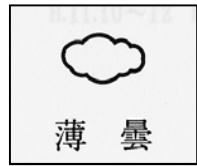
快晴

※建設業の売上高は完成工事高

# 建設業の推移

## 採算

<今 期>

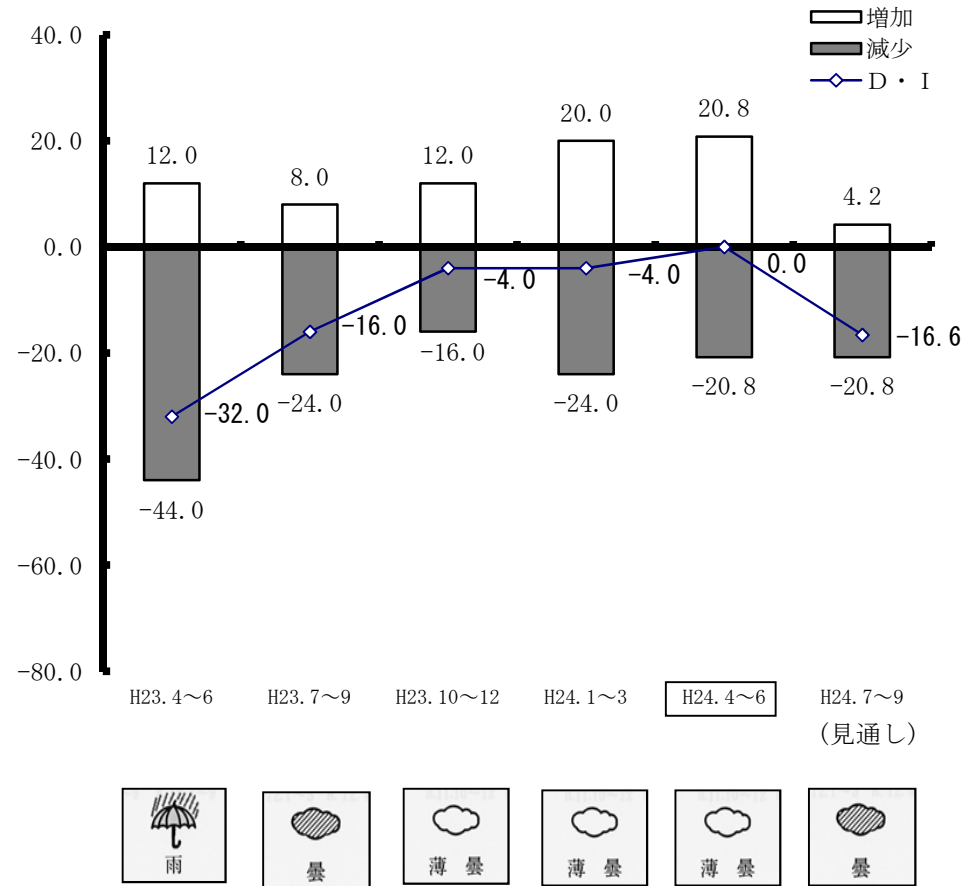


<来期見通し>



前期見通しでは、採算D・Iはプラス水準に転じるものと予想されていましたが、実際は、採算悪化企業の減少が小幅にとどまったため、0.0となりました。

来期は、好転を予想する企業が大幅に減少するため、再びマイナスに転じ、△16.6まで低下する見通しです。

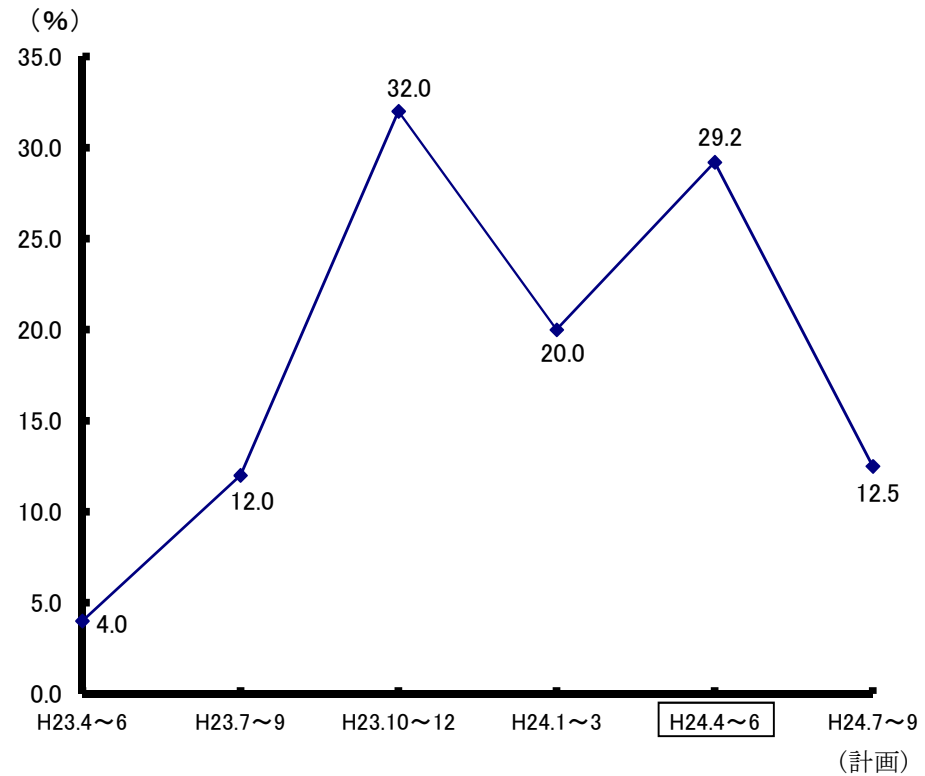


## 設備投資

前期見通しでは、設備投資を実施する企業は16.0%まで低下すると予想されていましたが、実際は増加となり、29.2%の企業で設備投資が実施されました。

来期は、設備投資を予定する企業は減少に転じ、12.5%まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

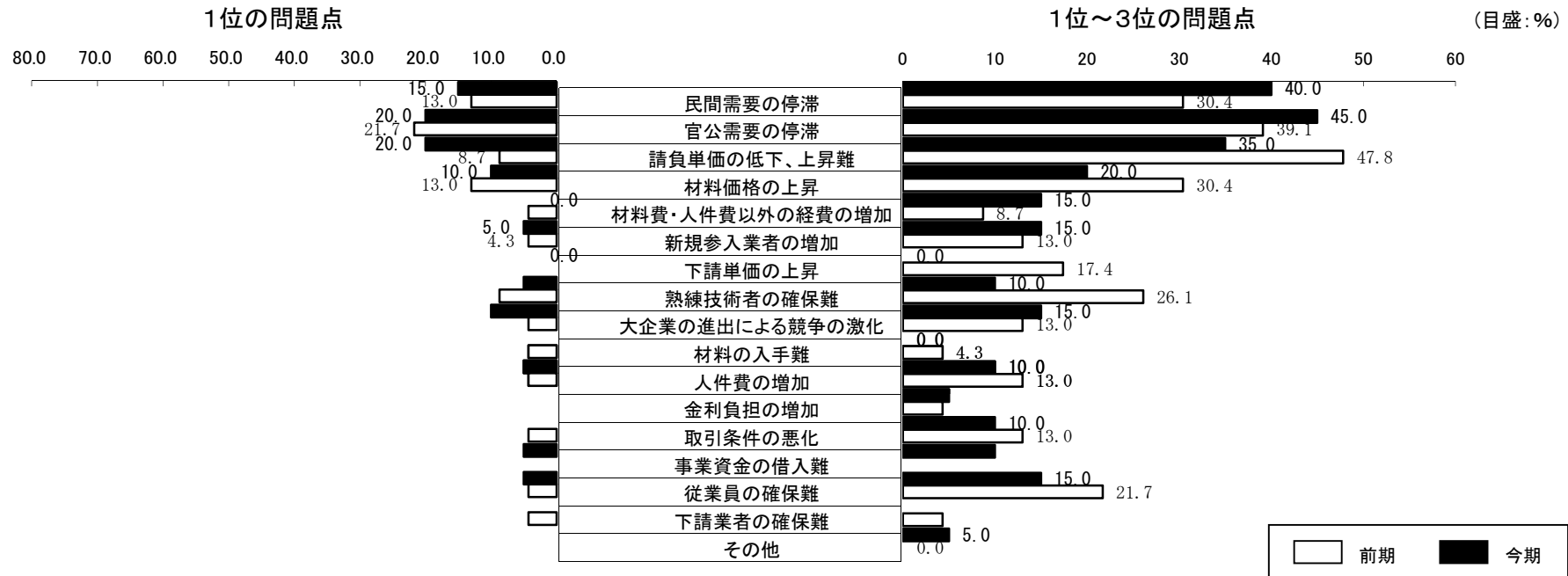


# 建設業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 建設業

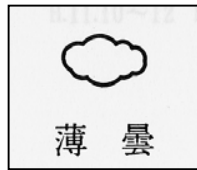
経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 小売業の推移

## 売上高

<今 期>

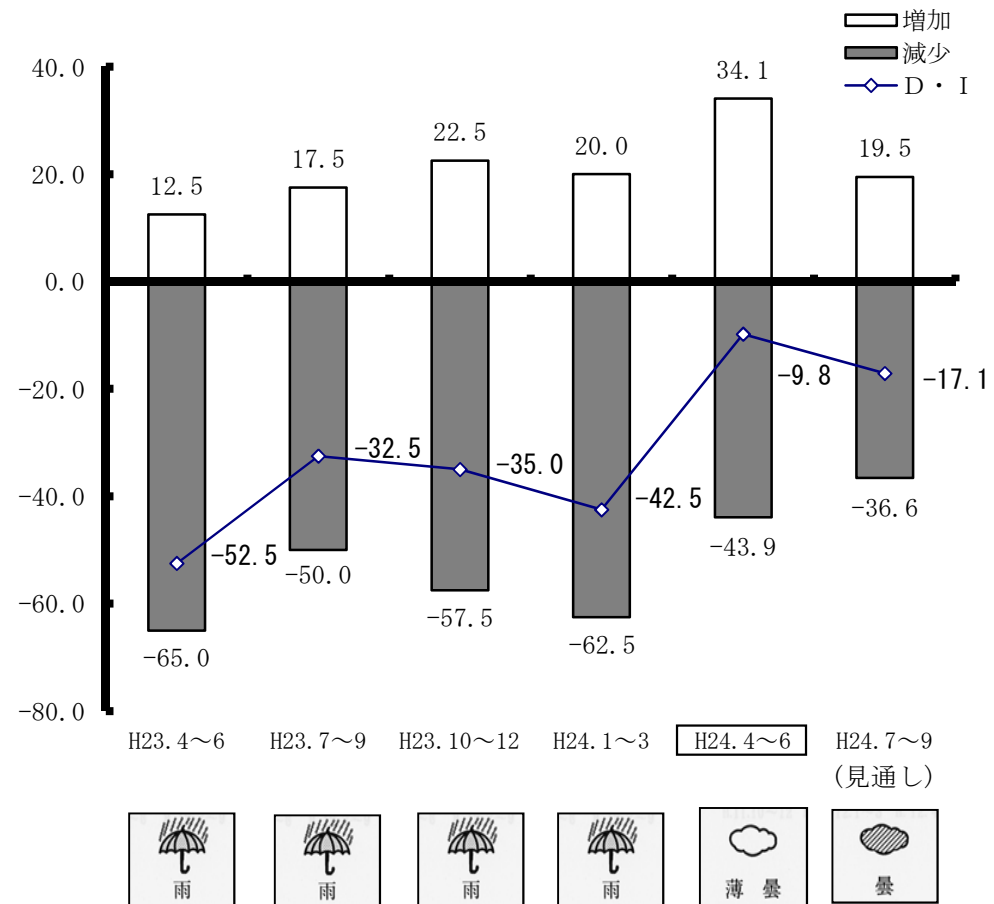


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業が14.1ポイント上昇し、また、売上高減少企業が18.6ポイント低下したことにより、マイナス幅が32.7ポイントも縮小し、△9.8まで回復しました。

来期は、売上高増加予想企業が低下するものの、減少を予想する企業も低下するため、D・Iは若干マイナス幅を拡大し、△17.1となる見通しです。





# 小売業の推移

## 採算

<今 期>

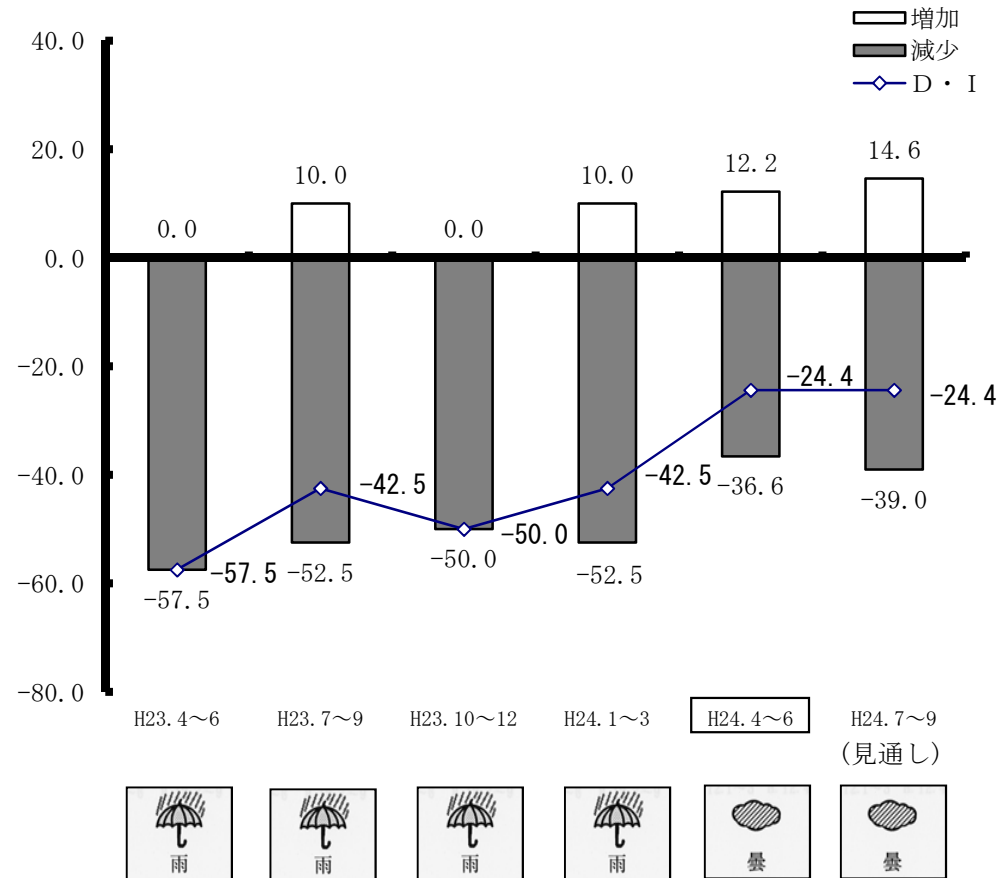


<来期見通し>



前期見通しでは、低いレベルでの横ばいが予想されていましたが、実際は、採算悪化企業割合の大幅な減少が寄与し、マイナス幅は18.1ポイント減少の△24.4となり、業況天気図も雨から曇に移行しています。

来期は、好転企業、悪化企業ともに上昇が予想されるため、採算D・Iは横ばいの見通しです

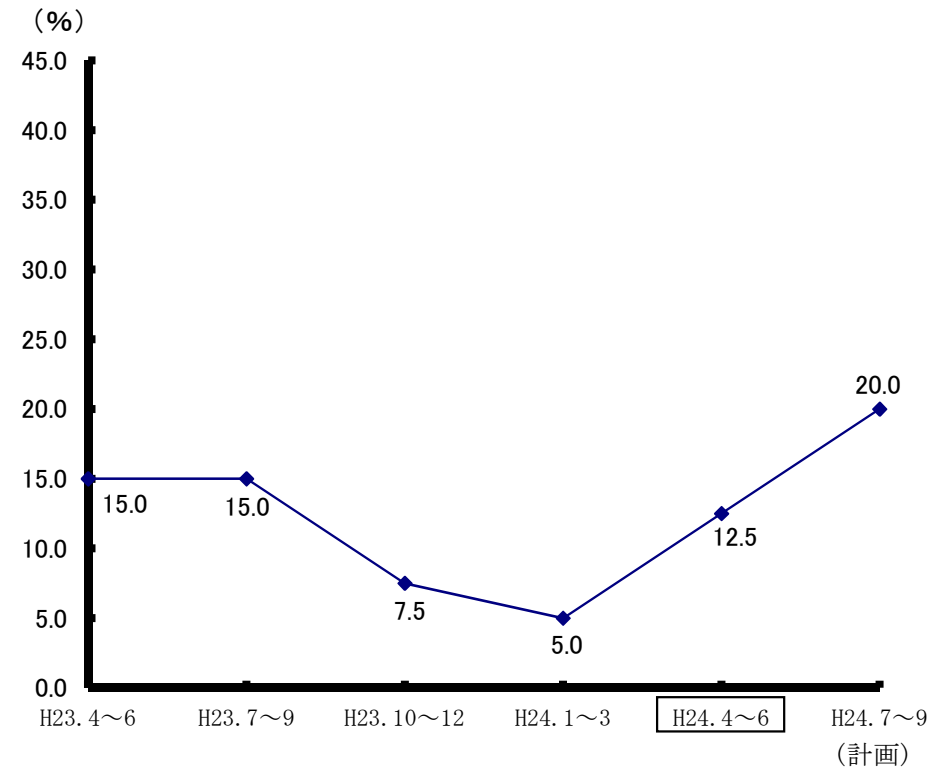


## 設 備 投 資

前期見通しでは、設備投資を行う企業の割合が22.5%と予想されていましたが、実際は予想を下回り、設備投資が実施された企業は12.5%となりました。

来期は、設備投資を計画している企業が引き続き増加し、20.0%まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。





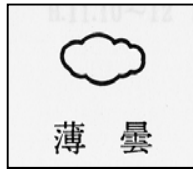
# サービス業の推移

## 売上高

<今 期>

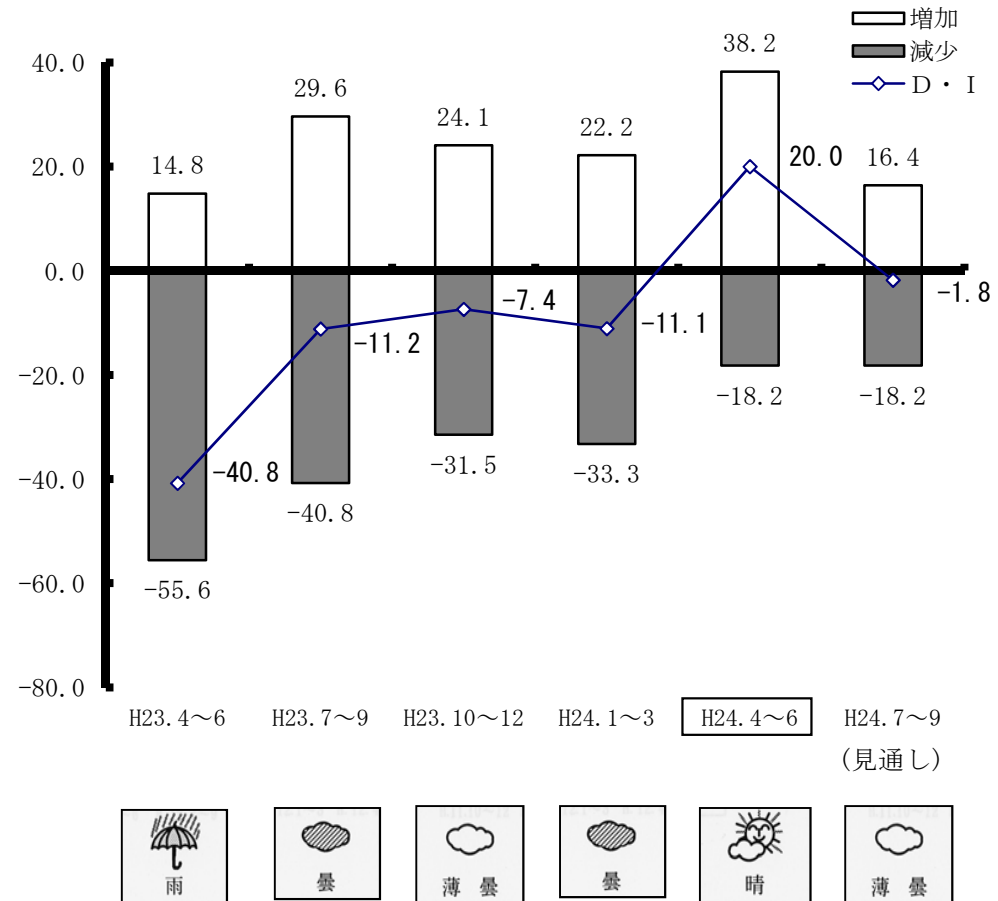


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の上昇と、売上高減少企業の低下によって、採算D・Iは大幅に改善して、20.0となり、業況天気図が曇から晴へと移行しました。

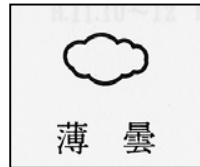
来期は、売上高増加を予想する企業割合が大幅に低下する結果、売上高D・Iは21.8ポイント低下の△1.8となり、再びマイナス水準になる見通しです。



# サービス業の推移

## 採算

<今 期>

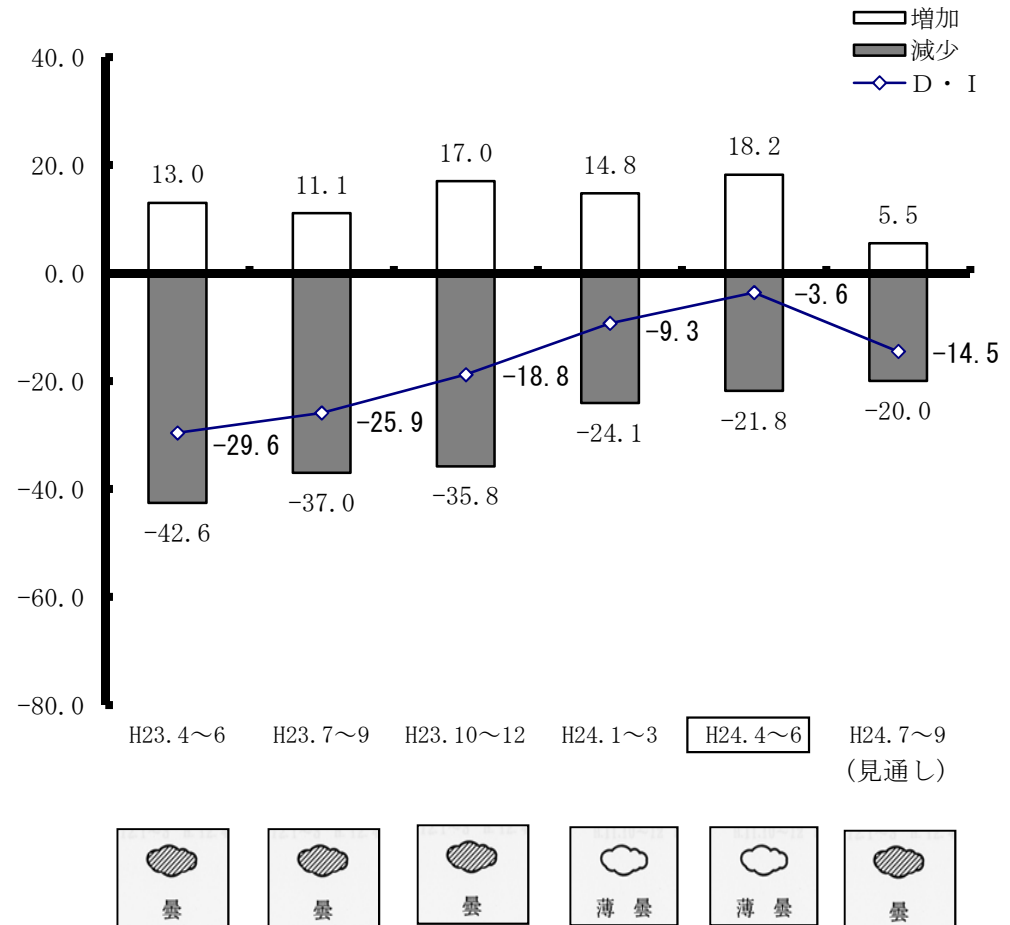


<来期見通し>



前期見通しでは、マイナス幅の拡大が予想されていましたが、実際は、悪化企業の低下が寄与して5.7ポイント上昇の△3.6となり、4期連続して改善されました。

来期は、採算の好転を予想する企業の低下によって再びマイナス幅が拡大し、△14.5となり、業況天気図も薄曇から曇への移行が予想されています。

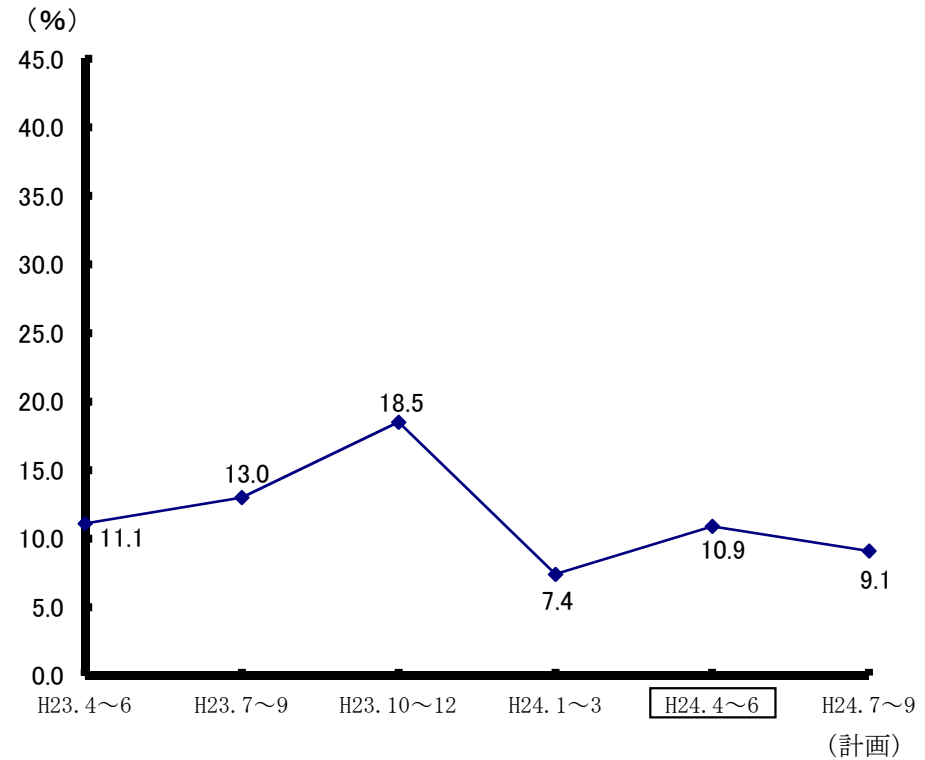


## 設備投資

今期は、ほぼ前期見通しの通りとなり、設備投資実施企業は10.9%にとどまりました。

来期は、設備投資を実施する企業は若干減少しますが、引き続き9.1%の企業において設備投資を行う見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



# サービス業の推移

## 経営上の問題点

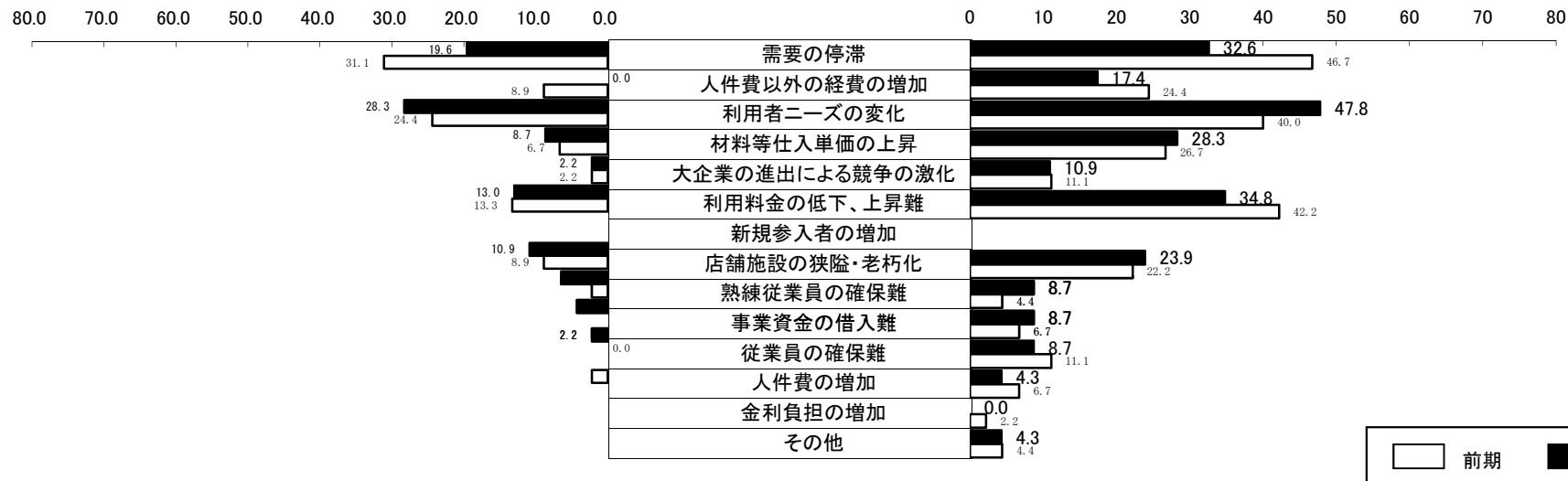
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

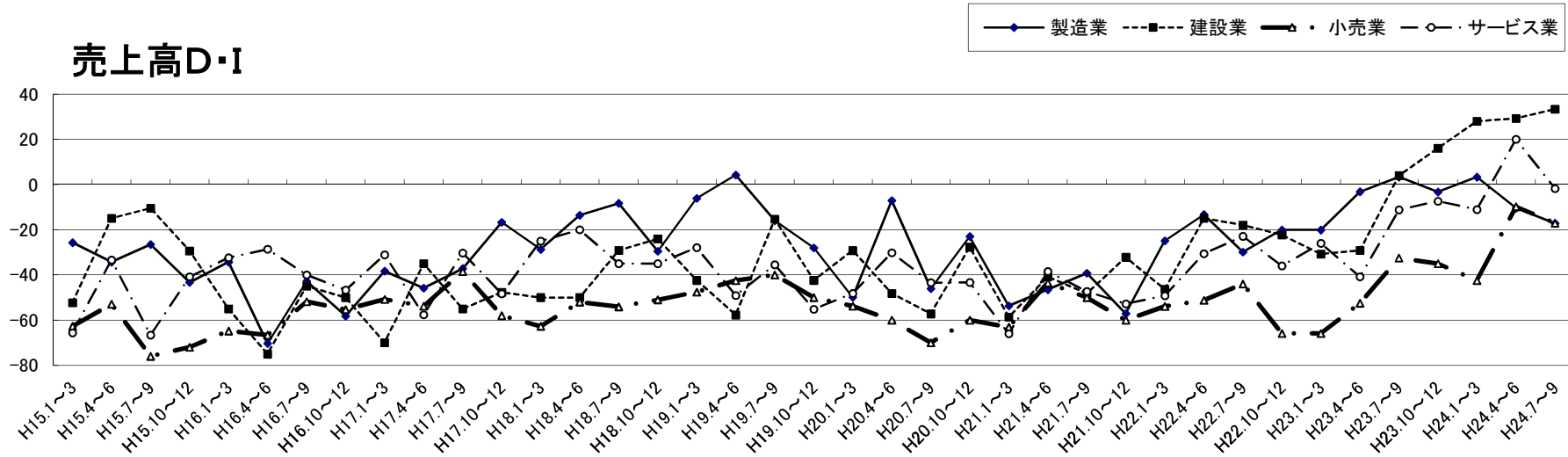
1位~3位の問題点

(目盛:%)

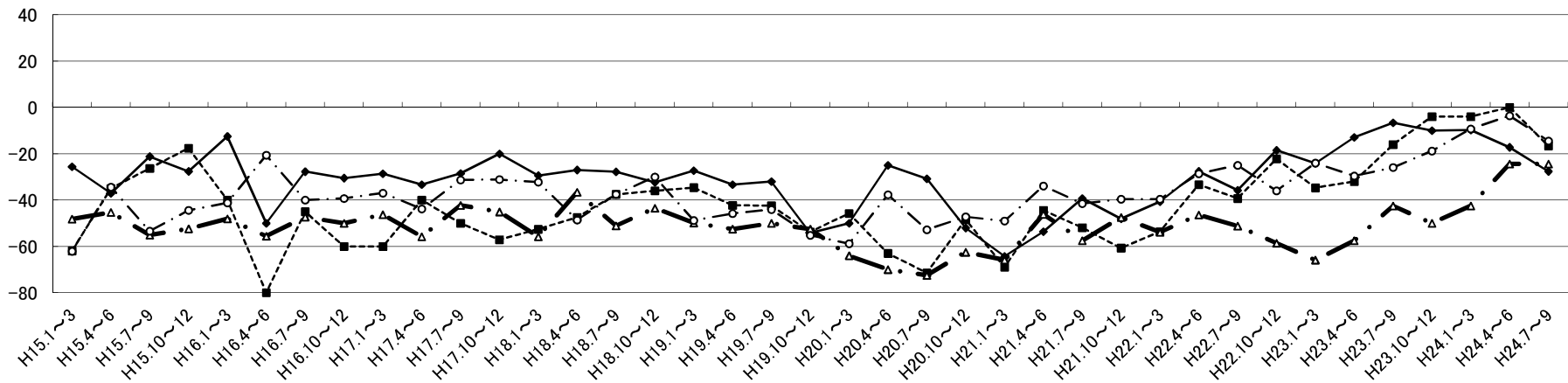


# 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

## 売上高D・I



## 採算D・I





# 集 計 資 料

# 調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、葛巻町、紫波町、西和賀、金ヶ崎町  
(商工会名) 平泉、田野畑村、普代、洋野町、一戸町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 149 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成24年4月～6月を対象とし、調査時点は平成24年6月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。  
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

## 4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 ( % )
製造業 (地域産業)		30 ( 20.0 )	29 ( 19.5 )	96.7
建設業		24 ( 16.0 )	24 ( 16.1 )	100.0
小売業		41 ( 27.3 )	41 ( 27.5 )	100.0
サービス業		55 ( 36.7 )	55 ( 36.9 )	100.0
		150 ( 100.0 )	149 ( 100.0 )	99.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。